令和６年 10 月 10 日発行（第３回）

ナース通信

こんにちは!! 埼玉県立がんセンターです。７月の説明会でお会いしてから３ヶ月が経ちますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

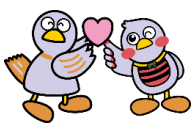
がんセンターは、「唯命惜～ただ命を惜しむ～」という病院の理念のもと多職種で連携し、患者さんご家族ががんで苦しむことのない世界を目指しチーム医療を実践しています。その中で患者サポートセンターは、入院支援、退院支援、地域連携、相談支援等の役割を担っています。がんセンター内を見学した際に、患者サポートセンター前にリレーフォーライフジャパン 2024 さいたまコーナーがあることに気が付きましたか？

今回は院外での活動を紹介します。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 さいたま

【迷わせない・困らせない・ひとりにさせない】

９月２８日（土）・２９日（日）に、さいたま市緑区で開催された、がん患者支援チャリテーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 さいたま」にがんセンターチームとして参加しました。このイベントは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合いがん征圧を目指すためのもので、５年ぶりに夜越えの形で開催されました。がんセンターチームは、いのちをつなぐウォークリレーで、今年新調した旗を持ち、タスキをつなぎました。がんセンターの２名の医師は啓発講演を行い、がんゲノムを用いた診断・治療について、がん患者のロコモシンドロームについて、たくさんの方が聴講されました。

日本では二人に一人が「がん」になると言われ、多くの方が「がん」とともに社会生活を送っています。夜の会場は、様々なメッセージなどが描かれたルミナリエバックに光が燈り、幻想的な一晩でした。がんセンターもがんサバイバーの方たちを応援する気持ちで紫にライトアップしました。

今後も院内外での活動をホームページやＸでご紹介していきます。💛